

めばえ通信

通巻 331 号
令和5年4月28日
発行/こども発達センターめばえ

「こどもの姿を伝えるクラスだより」

令和5年4月、さあ新学期がはじまりました。新しいお友達（めばえ13人、みなみめばえ7人、ひがしめばえ6人）が仲間入りし、3園がワクワクした空気に包まれます。入園式ではちょっと緊張した表情でお父さんやお母さんと一緒に登園してくれた子ども達が、3週間経った今は、かわいいリュックを背負い、自分のクラスにまっすぐ駆けていきます。きっと、子ども達の心は「今日は何をして遊ぼうかな！」と踊っていることでしょう。

さて、めばえ通信は2部構成になっており、この通巻331号となる第1部は、めばえの情報や福祉・保育に関する専門的な知識、保健や食事、月予定など様々な話題を保護者と共有するものです。第2部はクラスだよりです。5年前から写真を取り入れてきました。そしてより子どもの表情が伝わるように昨年度より写真をカラー印刷してお届けしています。

めばえが開園した平成5年時は、週1回が保育参加日で、今より頻繁に子どもと保護者が活動を共にすることで、成長していく子どもの姿を今より細やかに確認することができていました。30年が経ち、社会状況の変化やコロナ感染の状況もあり、連絡ノートや送迎時の会話だけでは伝えきれないことがあり、子どもの表情や遊びのワクワクする瞬間の目の輝きなどを職員が映し出す写真で伝えることができたらの思いがありました。

エピソードとして、6月に園庭や花壇であおむしやバッタを見つけた子ども達が、虫かごの周りに集まり「あおむしさん、葉っぱ食べた!」「あっ!今、バッタとんだ」などドキドキ、ワクワクの姿がシャッターチャンスとなります。この1枚の写真から、子ども達一人ひとりが何を見て、何を考え、行動しているのかを職員も振り返り、明日の活動には「こんな楽しいことを取り入れてみよう」と活動が楽しくなっていきます。そして、生き物の図鑑のページをめくって、昆虫の好きな食べ物を見つける子ども。友達が図鑑を見ている姿に駆け寄り、隣で一緒に見ている子ども。一日一日活動が発展していく面白さが倍増していく瞬間です。

このように「写真を取り入れたクラスだより」を手にとったときに、お子さんやご家族と写真のエピソードを話題として楽しんでいただけたらと思います。そして、是非職員にエピソード時の子どもの姿を聞いていただき、一緒にその瞬間のときめきを感じたいと思います。

新しい環境が始まったばかりです。子ども達は、生活に慣れるためにがむしゃらに動き回っていますので、一日の疲れをしっかりとって翌日を迎えられるようにご協力をお願いいたします。保護者の皆さんと共に子どもの成長を喜び合う一年になることを願っています。

こども発達センターめばえ・みなみめばえ・ひがしめばえ 施設管理者 吉井桐子

自分で納得する「間」



新年度が始まりおよそ1カ月が経ちました。毎年この時期は、新しい環境にドキドキして、気持ちが落ち着かない時期ですよ。大人でもそうなのですから、理由や仕組みがわからない子ども達にとってはなおさら不安だと思います。特に新入園児は、これまでと生活の場所・人・流れが大きく変わるので、泣いたり混乱したりしても当然のことだと思います。一日も早く、子ども達が楽しいことを見つけ、保護者の方にとってもめばえが安心できる場所になるように努めていきたいと思います。



先日、クラスの活動に少し入らせていただきました。午後の時間にクラスでプラレールや粘土遊びなどをしていたのですが、やはり人気があるのはプラレール！自分の好きな車両を手に持ち、長く繋げて走らせることに夢中になる子が多くいました。粘土で遊んでいた子も、友達が遊んでいる様子を見るとジブンモ！と、すかさず友達の使っているプラレールに手を伸ばそうとしています。「ダメ！」「使ってた！」「〇〇の！」とあちらこちらから声が聞こえます。そしておやつ時間が近付き、片付けの時間になりましたが、新入園児のAくんは片付けようとはしません。みんながトイレに行ったり、帰りの支度をしていても、まだ遊び続けています。

このような姿を見せる子ども達の姿からは、友達が持っているモノへ憧れたり、自分が大好きで、自分の思いを尊重してほしいという自我が育ってきていると感じます。細かな違いがわかるからこそ、「これじゃなくてあっちがいい！」という気持ちになったり、より目的がはっきりしてきたからこそ、別のものではごまかせなくなったりすることもあります。朝の登園前や、夕方から就寝前の時間帯などは特に、食事・着替え・歯磨き・排泄・入浴といった、大人が主導して生活を作る時間となり、子どもにとっては楽しい遊びを中断させられる時間となりやすいです。しかし大人の思いを前面に出されると、子どもは自分の思いをより強く意識して、さらに抵抗します。大人にとっては困ってしまう場面が多いこの自我が育つ時期ですが、子ども達の成長のプロセスの中で欠かせない、とても大切な時期なのです。

この時期の子どもの育ちについて書かれた様々な著書の中には、子ども達の隠された思いや葛藤について書いてあります。

- ・「自分大好き」の気持ちは、他人のことをどうでもいいと思うこととつながっているのではないということです。自分のことを大好きと思うのと同じように、自分の周囲の人のことも大好きだという気持ちとつながっているのです。（※1）
- ・「悪い自分」を選びとるのではなく、「賢くなった自分」を選びとろうとするのです。小さい自分ではない、大きい自分をつくりあげることで、「終わりよし」としたい願いが満ち溢れてくるのも、（中略）たいせつな特徴です。（※2）
- ・生活や遊びを通して楽しさを共感し、安心できる人間関係が結ばれていくなかで、自分の領域が尊重されている実感をもつとともに、相手に分けてあげる、譲ってあげるなど、自分にとって大切な相手の領域も尊重していくようになります。（※3）

自分の思いを通そうとするだけでなく、相手のことも大切に思う気持ちが出てきたり、自分の思いはあるけれどそれだけでいいわけではなく、褒められるような「おにいちゃん・おねえちゃんな自分」でありたいという願いがあります。

先ほどのクラスの場面でも、使っている電車を取られるのは嫌だけど、代わりの電車を友達に差し出す子がいました。また Aくんは、プラレールで遊びながらも先生の読む絵本や友達がおやつを食べる様子に気付き、「新幹線持ってきていいからおいで」という先生の一言に背中を押され、自分の席に座ることができました。“貸したくない”でも褒められるような自分でありたいから「こっちなら貸してあげる」「まだ遊んでいたい」でも「新幹線と一緒にならみんなと一緒ににおやつを食べたいな」そんな思いが隠されているのかもしれません。

私達大人がどう関わったらよいかについても、著書から探してみます。

- 子どもが「どっちにしようか」と考えて選ぶとする「間」を保障するようなおとなの関わりも大事です。子どもにとっては自分で選び、自分で重みづけることに価値があるのに、おとなから「…しなさい」と自主的な選択が阻まれたときには「いやー」と激しい抵抗を示します。(※3)
- (前略)「言い分」を自分で語り尽くすことができないこの時期に、先生に寄り添ってもらい、自分の思いをことばにしてもらうことはとてもうれしいことだと思います。そして、何より、そのことに自分が納得する「間」を保障されることが大事だと思うのです。(※1)
- 子どもが「したくなる」ような選択肢の用意が大切だと言われます。(※4)

まだ自分だけでは我慢したり、いい自分を選びとることが難しいですが、大人に自分の気持ちをたくさん受け止めてもらい、自分で納得して選ぶ時間を与えてもらえたら、相手を尊重する気持ちや「大きい自分」を引き出してあげられるのかもしれません。先ほどのクラスでの場面でも、Aくんの気持ちを受け止め、無理に座らせるのではなくAくんが自分から席につきたい気持ちになれるような環境と時間がありました。自分で考える「間」や選べる「環境」を作ってあげる、急かすのではなく葛藤に寄り添い、選択肢を用意して待つことが私たち大人のできることなのかなと思います。

新しい環境で、まだまだお互いの気持ちがぶつかる場面は多いと思います。しかしそれも子ども達の成長のチャンスと捉え、保護者の方々と一緒に見守っていけたらと思います。今年度もよろしく願いいたします。



こども発達センターめばえ
発達相談員 岡本亜希

【引用文献】

- ※1 かかわりあって育つ子どもたち 2歳から5歳の発達と保育 西川由紀子 かもがわ出版
- ※2 発達の扉<上> 白石正久 かもがわ出版
- ※3 新版 教育と保育のための発達診断 下 発達診断の視点と方法 白石正久・白石恵理子 編 全障研出版部
- ※4 子どものかわいさに出会う 増補版 乳幼児期の発達基礎講座 近藤直子 クリエイツかもがわ

できることから始めてみよう! 早寝 早起き 朝ごはん

人間の生体リズムは、脳が毎朝太陽の光を視覚で認識することによって調整しています。これを毎日同じ時間に繰り返していると、次第に自然な目覚めと、「からだ」「あたま」「こころ」の活発な働きが促されるようになります。

また、成長に欠かせないホルモンもこのリズムに沿って分泌されるようになります。寝不足や不規則な睡眠リズムはホルモンの分泌に影響を与えてしまい、心身の健康を損なう恐れがあると指摘されています。

朝食を食べることは、子どもにとっても大人にとっても大切なことです。朝食でブドウ糖をはじめとする様々な栄養素を補給して、午前中からしっかり活動できる状態をつくることが重要です。朝ごはんのメリットは、栄養補給だけではありません。よく噛んで食べることは、脳や消化器官を目覚めさせ、早寝早起きのリズムをつけることにつながります。おすすめはゆっくりと消化吸収され、長時間安定してエネルギーを供給できる「ごはん食」です。

無理せず、できることから「めざましごはん」を始めましょう。

給食室



《5・6月のおもちゃ図書館》

※新型コロナウイルスの関係で、会場によって日程変更や人数制限がある場合もあります。
詳しくは下記連絡先に御確認下さい。

菊川おもちゃ図書館あそぼ
会館場所：プラザけやき
検診ホール 児童館あそぼの部屋
5月13日(土) / 6月10日(土)
10:00~11:30 13:30~15:00
連絡先：0537-37-1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：総合福祉センター
1階 ボランティアセンター
5月20日(日) / 6月17日(日)
10:00~12:00 13:00~15:00
連絡先：0537-22-1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ

TEL) 0537-23-2312 FAX) 0537-23-0008

E-MAIL) htc.kodomo40@globe.ocn.ne.jp

ホームページもご覧ください。

東遠学園 めばえ  検索



5月の予定



5月		バス
		○14:30 発
1	月	○在のみ
2	火	○在のみ
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	新入園児バス利用開始 ○
9	火	○
10	水	○
11	木	保護者参加日 (保護者会総会・クラス懇談) ○13:00
12	金	○
13	土	
14	日	
15	月	○
16	火	○
17	水	○
18	木	歯科検診 ○13:00
19	金	○
20	土	
21	日	
22	月	継続児の面談週間 (年中児) ○
23	火	○
24	水	○
25	木	保育参加日 ×
26	金	尿検査1次 めばえ通信発行 ↓ ○
27	土	
28	日	
29	月	○
30	火	○
31	水	○

お知らせ

○バスについて

新入園児のバス利用開始は8日(月)から開始します。

○11日(木) 保護者総会・クラス懇談会

9:30~10:20 ぴい・たま クラス懇談会
10:30~ 保護者総会 (全クラス)
12:00~12:50 にん・じゃ クラス懇談会
懇談会では、クラス目標を説明したり、お互いの自己紹介等を行いたいと思います。

○18日(木) 歯科検診

めばえの保育内で実施します。9:30に間に合うように登園ください。結果は後日お伝えします。

○22日~26日 継続児面談週間 (年中)

日程の詳細は別紙にてお伝えします。

○26日(金) 尿検査

検尿キットは後日配布します。

6月の予定

5日(月)~9日(金)

短縮日課・家庭訪問

9日(金) 尿検査2次

22日(木) 保育参加日 (親子運動会)

23日(金) 尿検査3次

26日(月)~水遊びが始まります

○職員について

5月から毎日通園職員として松浦和恵が入ります。

